

令和4年度



業 務 報 告



公益財団法人広島市農林水産振興センター
Hiroshima City Agriculture, Forestry and Fisheries Promotion Center

(農林部 農業担い手育成課)

目次

I	野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発	
1	果菜類の栽培試験	
	(1) ピーマンの一本仕立て栽培試験	1
	(2) きゅうり栽培試験	4
	(3) スイートコーンのハウス早熟栽培試験	8
2	令和4年度土壌分析実績	
	(1) 農家ほ場の土壌診断	1 2
	(2) 試験研究用分析	1 3
3	最新の栽培技術等の実証展示	
	(1) 環境モニタリングシステム・生産管理システムの運用	1 4
	(2) J G A P 認証取得（こまつな、みずな、ほうれんそう、しゅんぎく）	1 5
4	直売所向けの野菜・花きの栽培展示	1 6
II	園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給	
1	園芸バイオテクノロジー導入事業の概要	1 9
2	苗の生産サイクル	2 0
III	新規就農者等の研修指導	
1	“ひろしま活力農業” 経営者育成基礎研修	2 1
2	「スローライフで夢づくり」新規就農者育成研修	2 4
3	ふるさと帰農者支援研修	2 5
4	“チャレンジ” 女性農業者育成研修	2 6

I 野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発

1 果菜類の栽培試験

(1) ピーマンの一本仕立て栽培試験

担当者：南川 隆三

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目である「こまつな」は、市場入荷量の増加等に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

施設ピーマンは、主要野菜の中で10a当たりの所得が高い品目とされており（農林水産省資料）、作業性が高い効率的な栽培方法が確立できれば、生産農家の所得向上が期待できる。

特に、夏秋ピーマンの1本仕立て栽培は、主枝の誘引作業が省力化でき、作業空間の確保が容易となるため、収穫作業の負担軽減、作業時間の短縮が可能とされている。

本栽培試験では、大分県農業技術センターにおいて行われた「夏秋ピーマンの一本仕立て誘引による作業性、収量性の向上」試験を参考に、1本仕立て栽培における栽植密度の違いによる収量・上物率を調査する。

2 調査方法

(1) 調査項目

収量・上物率

(2) 目標収量（調整重）

15 t / 10a(大分県新規就農研修の収量目標を採用)

(3) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	夏秋・ビニールハウス栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 整 枝	一本仕立て	整枝方法の簡索性 収穫作業の効率性の確認
ウ 品 種	京鈴（タキイ）	一般市場流通品種
エ 栽培施設	ビニールハウス（7m×14m）	
オ 栽植距離	条間 150 cm、1条×2畝 ① 株間 35 cm ②株間 50 cm	
カ 栽植面積	各区 14.17 m ² ①28本 ②20本	
キ 播種	令和4年1月20日	72穴セルトレイ、温床育苗
ク 定植	令和4年3月22日	鉢上げ1回（12cmポット）
ケ 施肥設計	エコロング 413-180 20 kg/a 基肥これだけ 10 kg/a くみあい液肥2号 適宜 500倍希釈 微量要素資材（カルプラス、PSマグ）	植溝70cmを深耕、黒マルチ、点滴チューブ2本/畝

(4) 管理方法

ア 整枝（捻枝、摘心位置、側枝の管理）

第1分枝節から発生する2～3本の枝のうち主枝を1本残し、主枝とする枝以外は節間で捻枝した。摘心位置は約1.7mで行い、下部の側枝は5～6節で、上部の側枝は3～4節で

摘心し、樹形状になるようにした。

イ 施肥・水管理

ロング肥料を使用し、追肥の省力化を図った。

水管理は活着まで乾燥を避け、生育が旺盛になり着果量が増加するにつれ灌水量を増やした。

7月中旬からは、追肥として灌水時にくみあい液肥2号を500倍程度に薄め、適宜施用した。

また、微量要素資材としてカルプラス、PSマグを適宜施用した。

ウ 防除（対象病害虫、防除間隔、回数）

対象病害は、うどんこ病、黒枯病、炭疽病、斑点病、灰色かび病等

対象虫害はタバコガ、ヨトウムシ、ハダニ、カメムシ等

防除は2週間に1回程度、合計12回行った。

エ 収穫・出荷（収穫重量、荷姿）

収穫重量は25g～50g程度で収穫を行い。出荷は150g/袋で行った。

3 結果

(1) 栽培期間

令和4年3月22日～11月30日

(2) 収穫調査期間

令和4年5月3日～11月30日

(3) 収量・上物率

ア 収穫物の全重は、‘株間35cm区’276.9kgに対し‘株間50cm区’255.9kgであり、‘株間35cm区’が約8.2%多かった。(表)

イ 調整重は、‘株間35cm区’254.0kgに対し‘株間50cm区’235.2kgであり、‘株間35cm区’が約8.0%多かった。(表)

ウ 上物率は、‘株間35cm区’91.7%に対し‘株間50cm区’91.9%であり、‘株間50cm区’が0.2ポイント高かった。(表)

エ 10a当たりの調整重の換算値は、‘株間35cm区’17915.2kg、‘株間50cm区’16589.2kgであった。(表)

表 試験区別・月別の全重・調整重・上物率の状況及び10a当たり換算の調整重（換算値）

区分	調査項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
① 株間 35cm	全重 (kg)	19.1	40.9	37.7	48.0	17.3	58.6	55.3	276.9
	調整重 (kg)	17.8	33.6	36.0	44.7	16.4	55.6	49.9	254.0
	上物率 (%)	93.2%	82.2%	95.5%	93.1%	94.8%	94.9%	90.2%	91.7%
	換算調整重 (kg/10a)	1255.4	2369.9	2539.2	3152.8	1156.7	3921.6	3519.6	17915.2
② 株間 50cm	全重 (kg)	17.8	32.7	36.5	40.7	13.5	53.7	61.0	255.9
	調整重 (kg)	16.0	27.1	34.7	38.0	12.8	51.4	55.2	235.2
	上物率 (%)	89.9%	82.9%	95.1%	93.4%	94.8%	95.7%	90.5%	91.9%
	換算調整重 (kg/10a)	1128.5	1911.4	2447.5	2680.2	902.8	3625.4	3893.4	16589.2



‘株間35cm区’

‘株間50cm区’

写真 草勢及び枝伸びについて

4 考察

収量については、9月に8月の高温による花ぶるいの発生により大幅な収量減が見られたが、目標収量15t/10aに対し、‘株間35cm区’17.9t(目標の119.3%)、‘株間50cm区’16.5t/10a(同110%)となり、両区とも目標収量を達成することができた。

また、上物率も同程度であったため、株間は35cmが望ましいと思われる。

(2) きゅうり栽培試験

担当者：富田 浩平

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目である「こまつな」は、市場入荷量の増加等に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

本市における施設きゅうり生産は、優れた栽培管理技術と朝穫り出荷等による有利販売を組み合わせることで高い売上高を維持している農家がいることから、生産農家の所得向上が見込める品目である。

そこで、市内農家で栽培実績のある2品種について栽培し、収量、上物率及び品種特性などを調査する。

2 調査方法

(1) 調査項目

収量・上物率、品種特性

(2) 目標収量（可販物収量）

11 t / 10 a（広島県農業経営指標 半促成栽培における収量を基に設定）

(3) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	雨よけ栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 整 枝	主枝一本仕立 立体振分栽培	整枝方法の簡索性 秀品率の向上
ウ 品 種	ゆうみ637（埼玉原種育成会）	多収性品種
	まりん（埼玉原種育成会）	多収性品種、うどんこ病抵抗性
	ニーナZ（埼玉原種育成会）	多収性品種、うどんこ病抵抗性
エ 栽培施設	ビニールハウス（7m×14m）	
オ 栽植距離	条間200cm、株間50cm、1条×3畝	1,000株/10a
カ 栽植面積	63㎡（63株栽植）	21株/畝
キ 定植	令和4年4月2日	接ぎ木苗
ク 施肥設計 （基肥）	セラマイティR1 10kg/a 基肥これだけ 10kg/a マリンカル 5kg/a 土肥これだけSP 5kg/a	ホオンマルチBU（マルチ）、点滴チューブ2本/畝
ケ 施肥設計 （追肥）	トミー液肥 ブラック トミー液肥 グリーン	

(4) 管理方法

ア 主枝は、誘引ひもにクリップで固定し、22節程度（肩の高さ）で摘心した。下位10節の側枝及び花芽は、順次早めに除去した。

一次側枝は10～15節は1節、16～22節は2節で摘心し、11節以上から発生した第三次側枝のうち、草勢の強い10本程度はそのまま伸長させた。

各側枝は、定植位置から両側に左右30cmずつに支柱を立て、その支柱に上部より40cmの間隔で張った誘引紐に引っ掛けるように振り分けた。

イ 施肥・水管理

施肥は、基肥に緩効性肥料を使用し、初期の追肥の省力化を図った。6月下旬より、生育に合わせ液肥を週に10程度かん水時に混入した。

水管理は、活着までは乾燥を避け、生育が旺盛になり着果量が増加するにつれ徐々に灌水量を増やした。

ウ 防除（対象病害虫、防除間隔、回数）

対象病害は、うどんこ病、べと病、灰色かび病、斑点細菌病等

対象虫害は、アブラムシ、アザミウマ類、ヨトウムシ、コナジラミ等

防除は2週間に1回程度、合計14回行った。

エ 収穫・出荷（収穫重量、荷姿）

収穫重量は、Lサイズ（100g/果）を基本とし、80g～120g程度で収穫を行い、出荷規格及び品位基準に基づき選別を行った。

収穫は、5月中は朝1回のみで、6月からは朝夕の2回行った。

(5) 出荷規格・品位基準

ア 出荷規格

等級	階級	1本の長さ	1箱の本数（5kg）
A ・ B	2L	23cm以上	37本～40本
	L	21cm～23cm	42本～47本
	M	19cm～21cm	52本～57本
	S	16cm～19cm	60本～65本

調整 ・果梗の切除はハサミを使用し、5mm以内とする。

・異品種を混入しない。

イ 品位基準

A	B
①品種固有の形状を有し色沢良好なもの。	①Aに次ぐもの。
②肩おち、尻太り、尻細りがないもの。	②肩おち、尻太り、尻細りが目立たないもの。
③病虫害、傷害がないもの。	③病虫害、傷害が目立たないもの。
④腐敗、変質していないもの。	④同左。
⑤曲がりの程度が2L・L・Mで1.5cm以内、Sで1cm以内であるもの。	⑤曲がりの程度が2L・L・Mで3cm以内、Sで2cm以内であるもの。
⑥清浄で新鮮なもの。	⑥同左。

3 結果

(1) 栽培期間

令和4年4月2日～8月21日

(2) 収穫調査期間

令和4年5月13日～8月21日

(3) 収量

ア 総収量（本数、総重量（A+B品））は、‘ゆうみ637’が3,111本、316kgに対し‘まりん’3789本、370kg、‘ニーナZ’が2,980本、299kgであり、‘まりん’が高かった。（表）

イ 総収量（本数、総重量）におけるA品は、‘ゆうみ637’が1,651本、224kgに対し‘まりん’2,797本、273kg、‘ニーナZ’が1,633本、162kgであり、‘まりん’が高かった。（表）

ウ 総収量（本数、総重量）における可販物（A+B品）は、‘ゆうみ637’が2,220本・167kgに対し‘まりん’2,797本、273kg、‘ニーナZ’が2,127本・212kgであり、‘まりん’が高かった。（表）

エ 総収量（本数）における可販率（A+B品）は、‘ゆうみ637’71%、‘まりん’74%、‘ニーナZ’71%であり、‘まりん’が3ポイント高かった。（表）

表 総収量に対する品位別収量及びA品率

試験区		総収量		可販物(A・B)		A品		B品		可販率 (A・B) 率 (%)
		本数 (本)	総重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	
①ゆう み637	21 m ²	3,111	316	2,220	224	1,651	167	569	57	71%
	換算重 (kg/10a)	148,143	15,043	105,714	10,666	78,619	7,941	27,095	2,725	
②まり ん	21 m ²	3,789	370	2,797	273	2,180	213	617	60	74%
	換算重 (kg/10a)	180,429	17,629	133,190	13,003	103,810	10,154	29,381	2,849	
③ニー ナZ	21 m ²	2,980	299	2,127	212	1,633	162	494	49	71%
	換算重 (kg/10a)	141,905	14,229	101,286	10,079	77,762	7,737	23,524	2,342	

(4) 品種特性

ア 果色、果形は、同程度であった。（写真1）

イ 草勢は、‘まりん’の方が‘ゆうみ637’、‘ニーナZ’に比べ強く、側枝の発生も良かった。

ウ うどんこ病は、ゆうみ637’に比べ、‘まりん’、‘ニーナZ’の方が抵抗性があり、発生が少なかった。

エ べと病の発生は同程度であった。



ゆうみ637



まりん



ニーナZ

写真 草勢

4 考察

収量については、目標収量11t/10aに対し、‘まりん’13.0t（目標の118%）、‘ゆのみ637’10.7t/10a（同97%）、‘ニーナZ’10.1t（目標の92%）となり、‘まりん’のみ目標収量を達成することができた。また、秀品率も‘まりん’が74%と一番高かった。

以上のことから、‘まりん’が有望と思われる。

(3) スイートコーンのハウス早熟栽培試験

担当者：嘉村 智志

1 目的

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業の主要経営品目である「こまつな」は、市場入荷量の増加に伴う価格の低迷が課題となっており、生産コストの削減や流通対策と合わせ、新たな経営品目の拡充が求められている。

スイートコーンは、無加温ハウスにおいて2～3月に定植することで、スイートコーンの市場価格が比較的高く、こまつなの市場価格が低迷する5～6月頃に出荷することができる。また、無加温ハウスをそのまま利用でき、栽培法も簡易であることから代替品目として有望である。

生育初期にトンネルを用いて温度を上げることで栽培を促成し、通常よりも早く収穫した場合の収量及び秀品率を通常栽培と比較し調査する。

2 試験方法

(1) 調査項目

生育期間、収量、上物率

(2) 耕種概要

項目	内容	選定理由等
ア 作 型	ハウス早熟栽培	葉物野菜生産施設の汎用化の確認
イ 品 種	サニーショコラレオ (みかど協和) おおもの83 (ナント種苗)	中早生 黄色種
ウ 栽培施設	ビニールハウス (7m×14m)	葉物野菜生産施設の汎用化を確認
エ 栽植距離	条間 140cm、株間 30 cm、2 条×4 畝	
オ 栽植面積	61.53 m ² (293 株栽植)	
カ 播種	令和4年2月22日	128 穴セルトレイ、温床育苗
キ 定植	令和4年3月7日	生分解性マルチ 点滴チューブ 1 本/畝 透明農ポリ (トンネル)
ク 施肥設計	全量基肥 N量 3kg/a NKエコロング 203-70 9.6 kg/a 追肥これだけ 8.2 kg/a	土壌分析結果を基に施肥設計

(3) 管理方法

ア 播種・育苗

播種は、128 穴セルトレイを使用し、温室内の温床ベッド内において設定 30℃で発芽させた。

発芽後は、温床ベッドの設定温度を 25～28℃に設定を下げて 2.5 葉期の定植苗まで管理した。

イ 温度管理

トンネルは、定植時から被覆し、葉身がトンネルに触れ始めた 4 月 7 日に撤去した。日中は 30℃を目安にハウス及びトンネルを換気した。

ウ 施肥・水管理等

施肥は、省力化のため基肥に被覆肥料を使用し、追肥は行っていない。また、今回は土壌分析結果に基づき施肥設計を行ったため、堆肥、石灰肥料は施用していない。

灌水は、生育初期は土壌が乾燥しないよう週に 1 回程度行った。絹糸抽出以降の生育後期は、雌穂の肥大を促すため週 2 回程度行った。

エ 除けつ、除房、トッピング

除けつ、除房、トッピングは行わなかった。

オ 防除（対象害虫、防除間隔、回数）

アワノメイガ、タバコガ類、アブラムシ類を対象に雄穂抽出期に1回行った。

カ 収穫・出荷（収穫重量、荷姿）

収穫は、雄穂の開花から20日過ぎから先端部分を剥いて目視で収穫適期を確認し、雌穂の肩が張ったものから収穫した。

調整は、広島県青果物標準出荷規格を参考に、切り口を5cm程度残して切り返し、等級、階級に分けて出荷した。

(4) 出荷規格・品位基準

ア 出荷規格

等級	階級	1本重量
A	4L	450g～500g
	3L	400g～450g
B	2L	350g～400g
	L	300g～350g
	M	250g～300g
	S	200g～250g

イ 品位基準

A	B
①品種固有の特性を有し、形状、色沢が良好なもの。 ②熟度が乳熟期であるもの。 ③実入り90%以上でしなびのないもの。 ④病害虫、鳥害、腐敗、変質のないもの。	①Aにつぐもの ②実入り80%のもの。 ③頭部にわずかに不稔粒が見受けられるもの。

3 結果

(1) 栽培期間

おおもの83

トンネル有区 令和4年2月22日～5月31日（収穫期間：5月27日～5月31日）

トンネル無区（通常栽培） 令和4年2月22日～6月3日（収穫期間：6月2日～6月3日）

サニーショコラレオ

トンネル有区 令和4年2月22日～6月2日（収穫期間：5月30日～6月2日）

トンネル無区（通常栽培） 令和4年2月22日～6月6日（収穫期間：6月6日）

(2) 収量・秀品率

ア 総収量は、おおもの83のトンネル有区は26.6kg（1.81t/10a）、トンネル無区は30.7kg（1.88t/10a）であった。（表1）

サニーショコラレオのトンネル有区は30.5kg（1.97t/10a）、トンネル無区は32.2kg（2.16t/10a）、であった。（表1）

イ おおもの83の可販物1本当たりの調整後平均穂重は、トンネル有区は379.6gであり、トンネル無区は394.1gであった。（表1）

サニーショコラレオの可販物1本当たりの調整後平均穂重は、トンネル有区は413.0gであり、トンネル無区453.9gであった。（表1）

ウ 総収量に対する可販物の割合は、おおもの83でトンネル有区は94%、トンネル無区88%であり、サニーショコラレオで、トンネル有区は96%、トンネル無区99%であった。（表1）

エ 総収量のうち、調整後穂重が300g以上のものは、おおもの83でトンネル有区は97.2%、トンネル無区は97.4%であり、サニーショコラレオはトンネル有区で98.6%、トンネル無区は100%であった。（表2）

表1 収量・品質割合

おおもの83 トンネル有

	総数	可販物			規格外
		総数	A	B	
調査本数(本)	70	66	58	8	4
総収量(kg)	26.6	25.4	—	—	1.2
10a 当たり換算本数(本)※	4,761	4,489	3,945	544	272
10a 当たり換算重量(kg)※	1807.8	1725.7	—	—	82.1
調整後平均穂重(g)	379.6	384.4	—	—	301.5
可販物本数割合(%)	—	94	83	11	6

※調査本数の面積による換算

おおもの83 トンネル無

	総数	可販物			規格外
		総数	A	B	
調査本数(本)	78	69	56	13	9
総収量(kg)	30.7	27.5	—	—	3.2
10a 当たり換算本数(本)※	4,761	4,212	3,419	793	549
10a 当たり換算重量(kg)※	1877.1	1684.4	—	—	192.7
調整後平均穂重(g)	394.1	399.8	—	—	350.6
可販物本数割合(%)	—	88	72	16	12

※調査本数の面積による換算

サニーショコラレオ トンネル有

	総数	可販物			規格外
		総数	A	B	
調査本数(本)	74	71	64	7	3
総収量(kg)	30.5	29.6	—	—	0.9
10a 当たり換算本数(本)※	4,761	4,568	4,118	450	193
10a 当たり換算重量(kg)※	1966.7	1905.1	—	—	61.6
調整後平均穂重(g)	413.0	416.9	—	—	319.0
可販物本数割合(%)	—	96	87	9	4

※調査本数の面積による換算

サニーショコラレオ トンネル無

	総数	可販物			規格外
		総数	A	B	
調査本数(本)	71	70	62	8	1
総収量(kg)	32.2	31.8	—	—	0.4
10a 当たり換算本数(本)※	4,761	4,694	4,158	536	67
10a 当たり換算重量(kg)※	2161.7	2133.9	—	—	27.8
調整後平均穂重(g)	453.9	454.5	—	—	415.0
可販物本数割合(%)	—	99	88	11	1

※調査本数の面積による換算

表2 階級別の割合

おおもの83		トンネル有区		トンネル無区	
階級	1本重量	本数(うち規格外)	割合(%)	本数(うち規格外)	割合(%)
4L	450g~500g	0	0	4	5.1
3L	400g~450g	18	25.7	39(2)	50.0
2L	350g~400g	45(2)	64.3	30(5)	38.5
L	300g~350g	5	7.1	3(1)	3.8
M	250g~300g	1(1)	1.4	0	0
S	200g~250g	0	0	0	0
S未満	199g以下	1(1)	1.4	2(1)	2.6
合計		70(4)	—	78(9)	—

サニーショコラレオ		トンネル有区		トンネル無区	
階級	1本重量	本数(うち規格外)	割合(%)	本数(うち規格外)	割合(%)
4L	450g~500g	14	18.9	40	56.3
3L	400g~450g	36(1)	48.6	30(1)	42.3
2L	350g~400g	19	25.7	1	1.4
L	300g~350g	4(1)	5.4	0	0
M	250g~300g	0	0	0	0
S	200g~250g	0	0	0	0
S未満	199g以下	1(1)	1.4	0	0
合計		70(3)	—	78(1)	—

4 考察

おおもの83、サニーショコラレオともに収穫開始日は、トンネル有区の方が6~7日早く出荷できたが、トンネルを設置し収穫を早めたスイートコーンより、トンネルをせずに通常に収穫したスイートコーンのほうが平均荷重の上昇は見られたものの、可販物本数割合の増加の傾向は見られなかった。

以上のことより、今回の試験ではトンネルをかけることにより収穫を早めることの栽培上の利点は見られなかった。

2 令和4年度土壌分析実績

(1) 農家ほ場の土壌分析

【認定農業者・認定新規就農者】

地 区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東西南中区	15		2			5	5			10	1	4	42
安佐南区													
佐東	1	2	4	4	17	14				2	4	7	55
安古市	2	2	2		2		5		2	9	11	7	42
祇園										4			4
沼田		4		4	4			5					17
安佐北区													
白木	1			3	6	6	3				15		34
高陽	3	6	1			5		1		5	3	31	55
可部	12	1		3			7	21	7	49	4	3	107
安佐	6		5	2	4	8			3			2	30
安芸区		2		12	12			8	10	1	24	8	77
佐伯区	4	3	16	12		3	12	2		7	1	24	84
小計	44	20	30	40	45	41	32	37	22	87	63	86	547

【一般農家】

地 区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東西南中区	6	12	9	12	5	5	7						56
安佐南区													
佐東	1				6						1	6	14
安古市													0
祇園													0
沼田		9	4				10						23
安佐北区													
白木	47	47	15	36	8	30	19	24	1	30	37	43	337
高陽											9		9
可部							4	4		10	3		21
安佐	3	6	16	4	2	2	9						42
安芸区						7	1	3		8		5	24
佐伯区	4	1	14			1	1					3	24
合計	61	75	58	52	21	45	51	31	1	48	50	57	550

(2) 試験研究用分析

地 区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
センター内	20	4	12	8	9	12	17	7	2	13	12	7	123
その他		1				2				2			5
小計	20	5	12	8	9	14	17	7	2	15	12	7	128

3 最新の栽培技術等の実証展示

(1) 環境モニタリングシステム・生産管理システムの運用

1 目的

近年、全国的に農業分野へのICT技術の導入が進みつつあり、導入による農業生産性の大幅な向上が期待されているところである。

このため、“ひろしま活力農業” 経営者を含む広島市内の認定農業者等においても、ICT技術を導入し、①栽培履歴記録、②栽培環境の見える化を行うことで、効率化、高品質化等を図り、競争力の高い農業を目指す必要がある。

2 事業概要

(1) 環境モニタリングシステム：みどりモニタ（株式会社セラク）

温度や土壌水分など、ほ場の環境をデータ化する（1棟で実施）

(2) 実施内容

作業内容及びほ場環境のデータ等を分析することにより、現在の生産方法を見直し、より効率的な生産方法の確立を目指す。

(3) 実施イメージ

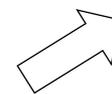
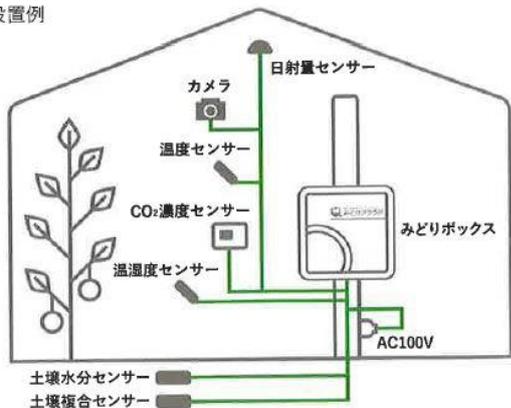
生産管理システム（作業内容をパソコンで入力）



データ入力

環境モニタリングシステム（ほ場環境を測定し自動記録）

設置例



データ自動送信



土壌水分センサー



パソコンでデータを検証し、生産方法を改善

(2) J G A P 認証取得 (こまつな、みずな、ほうれんそう、しゅんぎく)

【認証の種類】 個別認証

【認証基準・分類】 J G A P 農場用 管理点と適合基準 青果物 2016

【認証品目・出荷形態】 こまつな、みずな、ほうれんそう、しゅんぎく

【セクター】 栽培・収穫・取り扱い

【農産物取扱施設】 公益財団法人広島市農林水産振興センター集出荷施設

【登録番号】 340000046

【初回認証日】 2021年(令和3年)2月18日

【更新認証日】 2023年(令和5年)1月22日

【有効期限】 2025年(令和7年)1月21日

【審査機関】 一般社団法人日本能率協会審査登録センター

東京都港区芝公園 3-1-22

4 直売所向けの野菜・花きの栽培展示 43品目

凡例 ○:播種 △:定植 □:収穫

品目	品種	は種 (定植) (月)	収穫 時期 (月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	栽植距離 (cm)				施肥量 (N量) (kg/a)		備考
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	畝間	株間	条間	条数	
トマト	桃太郎はるか	3中 (5上)	6~8		△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	150	80	40	2	1.2	1.4	千鳥 白黒マルチ 防獣柵
ミニトマト	プレミアムビー イエローミミ				△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
きゅうり	フェルナンデス シャキット (四川系)	4上 (5上)	6~8	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150	70	-	-	2	2.5	黒マルチ 白黒マルチ
	フェルナンデス できすぎなるなる	6上 (7上)	8~9		○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
	フェルナンデス なるなるZUTTO	7中 (8中)	9~10			○	△	—	—	—	—	—	—	—	—							
ショウガ	大生姜	4中	10~11		△	—	—	—	—	□	—	—	—	—	135	50	30	2	1	1	千鳥	
かぼちゃ	ブラックのジョー	4上 (5上)	7~8	○	△	—	—	□	—	—	—	—	—	—	500	100	-	-	1	0.6	防草シート 防獣柵	
ズッキーニ	ダークヤングマン 黄まんぼう	2下 (4上)	5~6	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	135	80	-	-	1.5	1.2※	黒マルチ	
にがうり	節成ゴーヤー	4下 (5下)	7~10	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150	100	-	-	1.5	2※	黒マルチ	
なす	筑陽 (中長) P Cお竜	(5上)	6~10		△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200	70	-	-	2	3※	敷きワラ
	ふわとろ (長)	2中 (5下)			△	—	—	—	—	—	—	—	—	○	100							
ピーマン	京波 (中) ちくさ (大)	2中 (4下)	6~10		△	—	—	—	—	—	—	—	—	○	135	60	-	-	2	3※	敷きワラ	
甘長トウガラシ	福耳ジロー	3中 (4下)	6~10		△	—	—	—	—	—	—	—	—	○	135	60	-	-	2	3※	敷きワラ	
ししとう	シントウ	3中 (4下)	6~10		△	—	—	—	—	—	—	—	—	○	135	60	-	-	2	3※	敷きワラ	
タカノツメ	タカノツメ	2中 (4下)	9~10		△	—	—	—	□	—	—	—	—	○	100	40	-	-	2		敷きワラ	
にら	広巾ニラ	-	8~11		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	30	40	2	1.5	1.2	○株分け	
ねぎ	ホワイトスター なべちゃんゴールド 赤ひげ	4上 (6上)	12~2	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	3~5	-	-	1	1.8		
スイートコーン	ほしつぼコーン	3中 (4上)	6下~7 上	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	135	30	30	2	1.5	0.5	初期ユーラック タマネギマルチ	
	ゴールドラッシュ90	5上 (5下)	7上中	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—								40
オクラ	ヘルシエ エメラルド	4下 (5中)	7~9	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	135	10	-	-	1			
オクラ	広島おくら	4下 (5中)	7~9	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	135	10	-	-	1			
えだまめ	早生緑大莢	3中・下 (4上・中)	6	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	135	20	40	2	0.5	0.4	初期ユーラック	
	神風香	4上・下 (4下・5上)	7上	○	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
	湯あがり娘 黒真珠	5上・中 (5中・5下)	7下 8上		○	△	—	—	—	—	—	—	—	—								
	一本草枝豆(採種用)	6中 (6下)	10中			○	△	—	—	—	—	—	—	—								80
じゃがいも	キタアカリ アンデスレッド	(3中)	6		—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	90	30	-	-	0.7	0.5	3上催芽処理 8下催芽処理	
	デジマ アンデスレッド	(9上)	11				△	—	—	—	—	—	—	—								
さといも	深川早生 深川芋 セレバス 土垂	(4下)	9~12		△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	40	-	-	1.5	0.6		
さつまいも	鳴門金時ほか	6上	10下		△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90	30	-	-	-	-		
にんじん	向陽2号	4中	7~8	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	135	10	30	2	1.2	0.8		
	高農真紅金時	7下	11~12			○	—	—	—	—	—	—	—	—								
	向陽2号 甘美人 アロマレッド	8下	11~12				○	—	—	—	—	—	—	—								

凡例 ○:播種 △:定植 □:収穫

品目	品種	は種 (定植) (月)	収穫 時期 (月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	栽植距離 (cm)				施肥量 (N量) (kg/a)		備考		
				畝間	株間	条間	条数	基肥	追肥															
キャベツ	輝 新藍 キャンディレッド甘藍	7下 (8中)	11					○△		□						135	40	40	2	1.8	1.2			
	あまだま とくみつ	8上 (9上)	12~1					○△		□														
	湖水 湖月SP	8下 (9中)	1~2					○△					□											
	春波	10下 (2下)	5		□						○				△									
さやいんげん	サクサク王子ネオ	8上・中	10~11					○		□						135	20	40	2	1.2	1	ポットは種		
レタス	スターレイ	8下 (9中)	10					○△		□											0.5	ユーラック 黒マルチ		
リーフレタス	ウィンドレス グリーンジャケット	3中 (4上)	5		△	□									○	135	30	30	2	2		0.5	防虫ネット 黒マルチ	
		8下 (9中)	10					○△		□												0.5	防虫ネット 黒マルチ	
コスレタス	晩抽ロマリア	8下 (9中)	10					○△		□						135	20	30	2	2	0.5	ユーラック		
広島菜	在来種	9下	11~12								○			□		135	40	40	2	1.5	1.2			
白菜	CRお黄にいり	8上 (8下)	10					○△		□							25	25	3	1.1	0.5	密植栽培		
	黄ごころ65 黄ごころ75・紫奏子	8中 (9上)	11					○△		□							40	40	2	1.5	0.8	高畦、マルチ		
	ほまれの極み 冬月90	8下 (9中)	1~2								○			□										
ブロッコリー	おはよう プロフローレ65	7下 (8中)	11					○△		□						135	40	40	2	1.5	1.2			
	こんにちは	8中 (9上)	12~1					○△		□						135	40	40	2	1.5	1.2			
	こんばんは	8下 (9中)	1~2					○△		□						135	40	40	2	1.5	1.2			
茎ブロッコリー	スティックセニョール	7下 (8中)	11~1					○△		□						135	40	40	2	1.5	1.2			
カリフラワー	カリフローレ70	7中 (8中)	10					○△		□						135	40	40	2	1.5	0.8			
	ダ・ヴィンチ (ロマネスコ)	7下 (8中)	12~1					○△		□														
だいこん(採種)	笹木三月子大根	9下	3								○			□		135	-	40	2	0.6	1.4			
だいこん	三太郎 YR味づくり	9上・中	11~1								○			□										
	冬みね	9下										○			□		135	30	30	2	1.2	0.6		
	春宴	12上・中	4~5											○										
かぶ	耐病ひかり 早生大蕪 ものすけ サラダ・ラティエノ	9中・10上	11~12								○			□		135	15	30	2	1.5	0.6			
ピーツ	ゴルゴ ルナ ソーレ	9中	12								○			□		135	15	20	3	1	0.4			
ケール	カリノケールCG カリノケールロッソ	7下 (9上)	10~3					○△		□						135	40	-	-	1	1.2	敷きワラ		
コールラビ	コラビグリーン コラビレッド	8上 (8下)	10					○△		□						135	10	30	2	1	0.2			
みずな	晩生千筋京水菜	10中 (10下)	12~1					○△		□						135	15~30	15~30	2~4	1.2	0.4	玉ネギマルチ		
しゅんぎく	大葉種	10上 (10下)	12~1					○△		□						135	10	30	2	1.5	0.6	ユーラック		
未成熟そらまめ	陵西一寸	10下(11下)	5~6			□					○△					135	40	-	-	1	0.2			
スナップエンドウ	スナック753 グルメ	10下(11下)	4~5			□					○△					150	40	-	-	1	0.3			
実えんどう	うすい	10下(11下)	4~5			□					○△					150	40	-	-	1	0.3			
葉たまねぎ	貴錦 アリオン	8下 (10中下)	2~3								○△			□		135	15	15	4	1	0.8	ユーラック		
たまねぎ	貴錦 アリオン	9上 (11上)	3~4								○△			□										
	OK黄 アトン ノンクーラー	9中下 (11中)	6			□					○△					135	15	15	5	1	1	玉ネギマルチ		

凡例 ○:播種 △:定植 □:収穫

品目	品種	は種 (定植) (月)	収穫 時期 (月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	栽植距離 (cm)				施肥量 (N量) (kg/a)		備考	
				畝間	株間	条間	条数	基肥	追肥														
8月咲き小菊	かなえ、こなつ、すいれん、 夏祭り、流星、こずえ	4月下	8	△	□												120	20	40	2	1	0.4	冬至芽
9月咲き小菊	ななみ、しずく、あきつ	5月上	9	△	□												120	20	40	2	1	0.4	冬至芽
10月咲き小菊	みわく、聖夜、飛翔、 福寿、あきひめ	5月中	10	△	□												120	20	40	2	1	0.4	刺芽
11月咲き小菊	花の里、ほしぞら、かがやき	5月下	11	△	□												120	20	40	2	1	0.4	
12月咲き小菊	夢ほまれ、銀水晶、寒あさひ、 細雪、夢ロマン、金の友、 夢月花、銀の祝、山手祝	6月中	12		△	□											120	20	40	2	1	0.4	刺芽 ハウス
宿根ガーベラ	ガルビネラ他		6~12														120	0	40	1	1	0.4	宿根
宿根スターチス	トールピンクエミール		6~12														120	40	40	2	1	0.4	宿根
アマドコロ	斑入りアマドコロ		6~12														120	40	40	2	1	0.4	宿根
ネリネ					□												120	40	40	2	1	0.4	球根
フジバカマ	フジバカマ		9~10						□								120	40	40	2	1	0.4	宿根
われもこう	われもこう		9~10						□								120	40	40	2	1	0.4	宿根
葉ボタン	晴姿、恋姿	7下 (8下)	12					○	△	□							120	15	15	4	0.5	0.4	種子
ユーカリ	銀世界、デシビエンス		4~12														120		80	1		0.4	花木
ビットストラム	シルバークイーン		4~12														120		80	1		0.4	花木
アカシア	ブルプレア		4~12														120		80	1		0.4	花木
エリンジウム			6~8														120	40	40	2		0.4	宿根
りんどう	ながの2号		8														120	40	20	2		0.4	宿根
シャクヤク			5		□												120	40	40	2		0.4	宿根
クルクマ			7					□									120	40	40	2		0.4	球根
ルリ玉アザミ	ベッチーズブルー		7~9														120	40	40	2		0.4	宿根
クラスペディア			6~8														120	40	40	2		0.4	宿根

II 園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給

1 園芸バイオテクノロジー導入事業の概要

(1) 目的

バイオ技術を導入し、野菜や花きの地域特産物を対象に優良種苗を生産・普及し、生産性の高い産地の育成を図る。

(2) 実施期間

昭和 61 年度～

(3) 事業内容

- ① 生長点培養技術を活用し野菜・花きのウイルスフリー化による品質及び生産力の向上
- ② 大量増殖技術を利用した種苗の安定供給

(4) 方針

- ① 認定農業者、生産農家等にバイテク苗を供給し、経営の安定化を図る。
- ② 指導機関と連携して、農家での積極的な活用を図ることにより、産地の維持・発展を図る。

対象者：市域内の認定農業者、生産農家等

(5) 実績

実施区分	品 目	供給先 (R 4 年度)
苗の生産・供給	さつまいも 1, 4 4 0 株	西区
	すいぜんじな 1 4 0 株	安佐南区、安佐北区
	うるい 3 0 株	安佐北区
計	1, 6 1 0 株	—

(6) 継代品目

ふき、さつまいも、すいぜんじな、うるい、イチゴ、ダリア

(7) 茎頂採取・増殖品目

さつまいも、さといも

2 苗の生産サイクル

(1) ふき

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		S						J	==		

品 種 : 水ブキ

(2) さつまいも

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				S					J		==

品 種 : 鳴門金時、ベニアズマ、種子島紫、コガネセンガン、ベニハヤト

(3) すいぜんじな

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	S				J		==				

(4) うるい

10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
S					J		==				

凡例 S : 増殖開始 J : 順化 == : 出荷

Ⅲ 新規就農者等の研修指導

1 “ひろしま活力農業” 経営者育成基礎研修

1 目的

広島市農業の将来を担う優秀な人材を育成するため、栽培技術等の研修を行うとともに、農地のあつせんを行い、他産業並みの所得が確保できる若い活力ある農業経営者を育成することで、その経営者を核に、地域農業・農村の活性化と広島市民へ新鮮で安全な葉物野菜の安定供給を図ることを目的とする。

2 研修期間

25期生：1名

研修期間：令和4年4月～令和5年3月 うち8月1日～31日 農家派遣研修

3 研修内容

(1) 学科カリキュラム

栽培に必要な基礎知識と経営管理の能力を養う。

- ・ 野菜栽培の基礎
- ・ 土壌、肥料
- ・ 病害虫
- ・ 施設園芸
- ・ 農業経営
- ・ 流通

(2) 実習カリキュラム

葉物野菜の圃場準備から出荷・片付けまでの一貫した作業を行うことにより、栽培技術や経営技術を習得する。(研修ほ場：広島市農業振興センター内 パイプハウス1a×15棟、ガラス室1a×2棟)

- ・ 土壌管理
- ・ ハウス管理
- ・ 栽培管理
- ・ 出荷調整
- ・ 農業機械の保守と使用方法
(運搬車、トラクター、管理機、は種機、防除機、袋詰め機、予冷库等)
- ・ 栽培実績

品目：こまつな、ほうれんそう、しゅんぎく、みずな、ねぎ、小カブ、葉だいこん、小京菜、しろな、チンゲンサイ

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
作付回数	2	6	6	2	4	6	9	7	4	7	1	2	56回
出荷回数	15	9	12	14	9	9	11	12	16	13	14	15	149回
出荷数量	122	63	88	86	36	70	73	115	98	111	150	239	1,251箱

(3) 視察調査

市内優良農家、先輩活力就農者のほ場視察

ハウス番号	品目	品種	播種日	株間、条間	収穫日	収量(束、袋)	栽培期間(日)	備 考
1	こまつな	いなむら	4月18日	株間 6cm	5月16日～19日	456	28～31	
		さくらぎ		条間 18cm	5月16日～18日	434	28～30	
	ほうれんそう	プリウスベーター	5月31日	株間 7cm	7月11日	1	41	収穫適期過ぎ処分、抽苔処分
		ジャスティス		条間 18cm	7月5日～11日	221	35～41	
	ミズナ	京美人	9月29日	株間 5.5cm	10月24日～11月8日	130	28～40	京美人の葉先がカールする
		京だより		条間 18cm	10月27日～11月7日	483	25～39	京美人、京だより サイズオーバーにより11月10日に処分
	ほうれんそう	寒兵衛	1月12日	株間 6cm	3月7日～16日	440	55～63	表層耕転機使用
		ゴードン		条間 18cm	3月13日～16日	504	60～63	
2	こまつな	はっけい	6月7日	株間 6cm	7月7日	3	30	さくらぎより2～3日程度生育早い。収穫適期過ぎ処分
		さくらぎ		条間 18cm	7月7日～8日	219	30～31	一部収穫間に合わず処分
	こまつな	乃木坂	7月15日	株間 6cm	8月15日～17日	158	31～33	ハイマダラノメイガ多発による減収
		さくらぎ		条間 18cm	8月8日～12日	213	24～28	
	こまつな	さくらぎ 株間 6cm	9月5日	条間 18cm	10月4日	337	29	
		さくらぎ 株間 4.5cm			10月5日	463	30	
	こまつな	さくらぎ 株間 4.5cm	10月17日	条間 18cm	11月21日～24日	557	35～38	
		さくらぎ 株間 5.5cm			11月21日～25日	559	35～39	
	こまつな	さくらぎ 株間 5.5cm	11月28日	条間 18cm	2月8日～20日	432	70～80	
		さくらぎ 株間 4.0cm			2月15日～2月27日	820	77～87	
	こまつな	神楽坂	3月22日	株間 5.5cm	4月24日～27日	440	33～36	白さび病一部発生 収量にあ影響なし
		さくらぎ		条間 18cm	4月24日～28日	543	33～37	表層耕転機使用
3	こまつな	乃木坂	5月25日	株間 6cm	6月23日～27日	231	29～32	
		さくらぎ		条間 18cm	6月21日～22日	358	27～28	
	こまつな	里ごころ	10月7日	株間 5.5cm	11月7日～16日	259	31～33	生育は「さくらぎ」より早いメイガ類の発生で減収
		さくらぎ		条間 18cm	11月7日～10日	416	31～40	
4	ミズナ	京みぞれ	5月10日	株間 7cm	6月8日～17日	72	29～38	葉の先がカールする。収穫適期過ぎて処分
		京だより		条間 18cm	6月6日～15日	739	27～36	
	こまつな	はっけい	7月7日	株間 6cm	8月3日～5日	408	27～29	ハイマダラメイガ、ハダニ発生
		さくらぎ		条間 18cm	8月2日～3日	355	26～27	はっけい(一部サイズオーバー)
	ほうれんそう	ドンキー 株間 7cm	9月2日	条間 18cm	10月13日～14日	163	41～42	一部カブラヤガ等の被害株あり
		ドンキー 株間 6cm			143			
	ほうれんそう	ゴードン 株間 7cm	10月26日	条間 18cm	12月22日～1月6日	288	57～72	ケナガコナダニの被害で減収
		ゴードン 株間 6cm			202			
こまつな	株張わかな	1月13日	株間 5.5cm	3月16日～17日	296	62～63	表層耕転機使用	
	さくらぎ		条間 18cm	3月16日～20日	1085	62～66	「株張わかな」筋残り下葉の取れが悪い 生育は「さくらぎ」よりやや早いサイズオーバーとなり3月20日に処分	
5	チンゲンサイ	武帝	11月22日	株間 10cm	2月24日～3月2日	51	94～100	収穫遅れて大株になり収穫打切り
	ミズナ	京だより		条間 18cm	2月13日～20日	293	83～90	収穫遅れのため大株になった
6	葉ネギ	観音ねぎ	播種	株間 5.5cm	2月15日～16日	64	96～97	葉折れが多い
		みやび姫	10月7日	条間 35cm	2月13日～14日	450	94～95	
		T1スリム	定植		2月6日～7日	370	87～88	葉折れが多い
		パワースリム	11月11日		2月8日～22日	322	89～103	
9	こまつな	秋冬のエース	10月31日	株間 5.5cm	12月12日～21日	415	42～51	一部に尻腐れ発生、「さくらぎ」より下葉の落ちが悪い
		さくらぎ		条間 18cm	12月13日～21日	460	43～51	
10	ミズナ	京みぞれ	10月11日	株間 5.5cm	11月11日～17日	222	31～37	京みぞれ サイズオーバーにより11月17日に終了
		京だより		条間 18cm	11月10日～35日	72	30～35	京だより サイズオーバーにより11月15日に終了
	こまつな	あっちゃん	12月2日	株間 5.5cm	2月8日～9日	306	68～69	コナガの食害一部あり
		さくらぎ		条間 18cm	2月9日～22日	481	69～82	
12	こまつな	夏の甲子園	5月13日	株間 6cm	6月9日～15日	420	27～33	
		さくらぎ		条間 18cm	6月8日～10日	428	26～28	
	こまつな	春のセンバツ	6月29日	株間 6cm	7月27日～29日	339	28～30	
		さくらぎ		条間 18cm	7月25日～26日	305	26～27	
	こまつな	さくらぎ 株間5.5cm	8月25日	条間 18cm	9月26日	471	32	収穫的期は9月23日～24日
		さくらぎ 株間6.0cm			472			
	こまつな	さくらぎ	11月7日	株間 5.5cm	1月6日～20日	1202	60～74	
		蔵王		条間 18cm				
こまつな	蔵王	1月26日	株間 5.5cm	3月22日	44	55	尻腐れ多発により減収	
	さくらぎ		条間 18cm	3月22日～27日	621	55～60		

13	こまつな	つなしま	4月28日	株間 6cm	5月27日～6月1日	453	29～34	
		さくらぎ		条間 18cm	5月26日～27日	456	28～29	
	こまつな	つなしま	6月24日	株間 6cm	7月21日～22日	290	27～28	
		さくらぎ		条間 18cm	7月19日	233	25	
	こまつな	さくらぎ 条間21cm	8月10日	株間 5.5cm	9月2日～5日	272	23～26	表層耕耘機のみ使用
		さくらぎ 条間18cm			9月2日～9日	415	23～30	
	ほうれんそう	福兵衛	10月6日	株間 6cm	11月11日～16日	363	36～41	福兵衛の方がオシリスより葉柄が太く重量が多い
		オシリス			11月11日～17日	291	36～42	
こまつな	江戸の小町 株間 4cm	12月14日	条間 18cm	2月22日～3月2日	545	70～78		
	江戸の小町 株間 5.5cm			3月3日～6日	514	79～82		
14	ほうれんそう	プリウスベーター	5月2日	株間 7cm	6月16日	18	45	尻腐れ多発
		ジャスティス		条間 18cm	6月15日～16日	63	44～45	収穫適期過ぎ処分
	ほうれんそう	ゴードン 株間 7cm	9月21日	条間 18cm	10月24日～11月1日	289	33～41	
		ゴードン 株間 6cm			10月25日～11月1日	304	34～41	
	こまつな	はまつづき	11月24日	株間 5.5cm	1月26日～31日	406	63～68	一部に葉焼けが発生
さくらぎ		条間 18cm		2月2日～	502	70～90		
15	こまつな	いなむら	6月16日	株間 6cm	7月13日～19日	249	27～33	
		さくらぎ		条間 18cm	7月11日～13日	262	25～27	
	こまつな	さくらぎ	8月19日	株間 5.5cm	9月15日	181	27	表層耕耘機のみ使用
		艶夏		条間 18cm	9月21日	129	33	葉軸細い、目方少ない
	こまつな	国芳	10月5日	株間 5.5cm	11月11日～21日	152	37～47	華丈は伸びないが1本当たりの重量が100g以上になるので収穫収量
		さくらぎ		条間 18cm	11月4日～8日	333	30～34	ハイマダラノメイガ多発による減収
ミズナ	京のれん	12月16日	株間 5.5cm	2月22日～3月3日	592	68～77		
	京すだれ		条間 18cm	3月7日	51	81	抽苔株多数発生 減収	
16	こまつな	はまつづき	12月28日	株間 5.5cm 条間 18cm	3月7日～13日	1502	62～68	
18	こまつな	雪美坂	11月16日	株間 5.5cm	1月13日～19日	597	58～64	雪美坂の方が生育早い
		さくらぎ		条間 18cm	1月17日～23日	613	62～65	
	こまつな	はつけい	3月15日	株間 5.5cm 条間 18cm	4月17日～20日 4月17日～21日	476 522	33～36 33～37	表層耕耘機使用
栽培B-1	シロナ	耐病花芯	6月2日	株間 6cm	6月27日～7月4日	187	25～32	
		小京菜 広島菜（自家採種）		条間 18cm		215		
	こまつな	むらさき祭	9月22日	株間 5.5cm	10月24日～27日	109	32～35	
		さくらぎ		条間 18cm	10月24日	263	32	
	こまつな	江戸の小町	11月2日	株間 5.5cm	12月27日～1月10日	217	55～69	江戸の小町の方が「さくらぎ」より早い
		さくらぎ		条間 18cm	1月11日	141	70	発芽不良と苗立ち枯れによって減収
こまつな	かな	1月18日	株間 5.5cm	65～68	201	65～68	表層耕耘機使用	
	さくらぎ		条間 18cm		51		尻腐れ多発 減収	
栽培B-2	葉ダイコン	美菜 株間 7cm	6月3日	条間 18cm	6月27日～7月5日	74	27～32	葉色薄い、 収穫適期過ぎ、処分
		美菜 株間 10cm						
	こまつな	スカイホワイト	9月12日	株間 5.5cm	10月11日	29	90	
		さくらぎ		条間 18cm	10月12日	30	129	
	こまつな	江戸の舞	10月21日	株間 5.5cm	11月30日～12月14日	226	40～54	江戸の舞の方が「さくらぎ」より早い
さくらぎ		条間 18cm		12月7日～14日	236	47～54		
チンゲンサイ	武帝	11月22日	株間 10cm	3月13日～17日	99	66～70	チェーンポットに播種育苗 定植1月6日～20日	
ミズナ	京だより			—	—	—	ミズナ抽苔 処分 チンゲンサイ抽苔処分	
栽培c	こがぶ	きらりのゆめ	5月24日	株間 10cm	6月23日～30日	214	30～37	
		玉里		条間 18cm	6月24日～29日	296	31～36	玉里の方が玉の太り早い
	ミズナ	夏白泉	8月31日	株間 5.5cm	9月26日～10月4日	259	26～34	生育、株張りとも京だよりの方が
		京だより		条間 18cm	9月26日～28日	238	26～28	早い
	シュンギク	令和3年採種	10月14日	株間 10cm	12月9日～19日	70.5kg	56～66	鯉城大葉の方がやや生育早い
		鯉城大葉(コート種子)		条間 18cm	12月5日～12日	69.5kg	52～59	
ほうれんそう	ハイドン	2月16日	株間 6cm	3月27日～4月10日	576	39～50	表層耕耘機使用、 ホウレンソウケナガコナダニ被害無し(コテツペイト使用)	
	徳兵衛		条間 18cm		458			
栽培D	こまつな	冬里	1月12日	株間 5.5cm	3月23日	70	40	表層耕耘機使用
		さくらぎ		条間 18cm	3月23日～24日	70～71	807	「冬里」は「さくらぎ」より生育早いためサイズオーバーのため処分

2 「スローライフで夢づくり」新規就農者育成研修

1 目的

栽培技術や販売の研修、農地のあっせんを行い、担い手の減少、遊休農地の拡大等の問題に直面している農村部において就農させ、ゆとりのある生活の中で作られた新鮮な農産物の直売による地産地消の拡大や新規就農者を核とした地域交流により農村地域の活性化を図ることを目的とする。

2 研修期間

研修生：6名

令和4年4月～令和5年3月

(原則として週3日、月・水・金曜日、午前9時～午後3時)

3 研修場所

センターほ場(露地及びハウス)等

4 研修実績

- (1) 栽培実習：43品目の野菜及び花きの肥培管理(P15参照)、農機具の操作技術の習得等
- (2) 販売実習：ひろしま朝市での販売技術の習得、市場出荷技術の習得
- (3) 講義

講義項目	実施月日	内容
主な野菜及び花きの基礎(1)	5/27	果菜類・葉菜類の栽培について
主な野菜及び花きの基礎(2)	9/5	ひろしまそだち栽培指針について
主な野菜及び花きの基礎(3)	3/6	令和5年度 栽培品目等
病虫害防除	5/27	・農薬の使用について ・防除の概要について(物理的、化学的、生物学的防除)
鳥獣害対策の基礎	12/9	広島市における鳥獣害の現状と対処法について
農業機械講習(1)	2/24	刈払い機
農業機械講習(2)	1/16	トラクター、管理機
野菜販売技術	2/27	野菜の包装技術について
販売体験	7/10、8/7、9/4、 10/2、11/6、12/18	ひろしま朝市
農業経営(1)	12/2	税務研修
農業経営(2)	12/9	簿記記帳の基礎、決算書の作成の仕方
先進農家視察	7/2	研修修了生の圃場視察
農業協同組合、稲作	3/15	農協の役割や活用
農業関係法令	3/8	農地賃借等に関する法律について
直売所見学	3/10	とれたて元気市広島店の見学

3 ふるさと帰農者育成研修

1 目的

担い手の減少、遊休農地の拡大等の問題に直面している農村部の活性化を図るため、帰農希望者を対象に、栽培技術や販売の研修を行い、朝市等の生産販売農家として育成する。

2 研修期間

研修生：10名

令和4年4月～令和5年3月

(原則として月・水・金のうち週2日、午前9時～午後3時)

3 研修場所

センターほ場(露地及びハウス)等

4 研修実績

(1) 栽培実習：43品目の野菜及び花きの肥培管理(P15参照)、農機具の操作技術の習得等

(2) 販売実習：ひろしま朝市での販売技術の習得、市場出荷技術の習得

(3) 講義

講義項目	実施月日	内容
主な野菜及び花きの基礎(1)	6/22	果菜類・葉菜類の栽培について
主な野菜及び花きの基礎(2)	7/4	ひろしまそだち栽培指針について
主な野菜及び花きの基礎(3)	3/8	令和5年度栽培品目の結果と考察
病虫害防除	10/3	・農薬の使用について ・防除の概要について(物理的、化学的、生物学的防除)
鳥獣害対策の基礎	12/9	広島市における鳥獣害の現状と対処法について
農業機械講習(1)	2/24	刈払い機
農業機械講習(2)	1/16	トラクター、管理機
野菜販売技術	2/27	野菜の包装技術について
販売体験	7/10、8/7、9/4、 10/2、11/6、12/18	ひろしま朝市
農業経営(1)	12/2	税務研修
農業経営(2)	12/9	簿記記帳の基礎、決算書の作成の仕方
農業協同組合、稲作	7/2	農協の役割や活用
農業関係法令	3/15	農地賃借等に関する法律について
直売所見学	3/8	とれたて元気市広島店の見学

4 “チャレンジ” 女性農業者育成研修

1 目的

農業従事者の過半が女性であることから、農家女性を対象に、野菜、花きの栽培・経営技術等の研修を行い、生産から農産加工、販売までの知識を生かした経営力のある女性農業者を育成する。

2 研修期間

研修生：2名

令和4年4月～令和5年3月

(原則として月・水・金のうち週2日、午前9時～12時)

3 研修場所

センターほ場（露地およびハウス）

4 研修実績

(1) 栽培実習：43品目の野菜及び花きの肥培管理（P15参照）、農機具の操作技術の習得等

(2) 販売実習：ひろしま朝市での販売技術の習得、市場出荷技術の習得

(3) 講義

講義項目	実施月日	内容
主な野菜及び花きの基礎(1)	6/24	果菜類・葉菜類の栽培について
主な野菜及び花きの基礎(2)	7/4	ひろしまそだち栽培指針について
主な野菜及び花きの基礎(3)	3/6	令和5年度 栽培品目の結果と考察
病虫害防除	10/3	・農薬の使用について ・防除の概要について(物理的、化学的、生物学的防除)
鳥獣害対策の基礎	12/9	広島市における鳥獣害の現状と対処法について
農業機械講習(1)	2/24	刈払い機
農業機械講習(2)	1/16	トラクター、管理機
野菜販売技術	2/27	野菜の包装技術について
販売体験	7/10、8/7、9/4、 10/2、11/6、 12/18	ひろしま朝市
農業経営(1)	12/2	税務研修
農業経営(2)	12/9	簿記記帳の基礎、決算書の作成の仕方
農業協同組合、稲作	7/2	農協の役割や活用
農業関係法令	3/15	農地賃借等に関する法律について
直売所見学	3/8	とれたて元気市広島店の見学

名	称	令和4年度 業務報告
主 所	管 在 課 地	公益財団法人広島市農林水産振興センター農業担い手育成課 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号 TEL (082) 842-4421 Fax (082) 845-4350 http://www.haff.city.hiroshima.jp/index
発 行 年 月		令和6年12月